



医療連携ニュース



2023年8月号

発行 東海大学医学部附属八王子病院 患者支援センター 医療連携室 TEL:042(639)1114 FAX:042(639)1115

盛夏の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。
このたび、東海大学医学部附属八王子病院医療連携ニュース2023年8月号を発行いたしました。
先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただく、一助となれば幸いです。

患者支援センター所長 小田 真理、医療連携室長 角田 隆俊

胸郭変形でお困りの場合は、ご相談ください！



東海大学医学部附属八王子病院
呼吸器外科医長 臨床教授 中川 知己 医師

【専門分野】

小児呼吸器外科、漏斗胸、肺癌、胸腔鏡下手術、胸部外傷

【専門医・認定医】

日本外科学会外科指導医・専門医、日本呼吸器外科学会専門医、
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、2023年4月より臨床教授に就任いたしました中川 知己と申します。

呼吸器外科のなかでも、先天性呼吸器疾患などの小児呼吸器外科領域を専門としています。今回はその中でも胸郭変形について、ご紹介いたします。

前胸部あたりがロート状に凹んでいる(陥凹している)状態を漏斗胸と呼び、逆に突出している状態を鳩胸と呼びます。変形は多種多様で、左右対象に変形していることもあれば、非対称のこともあります。漏斗胸は、およそ1000人に1人程度の割合で起こり、男児に多いと言われていますが、もちろん女児にもみられます。症状については、何も訴えない子もいれば、痛みを訴える子もいます。ご両親からは、運動すると直ぐに息があがる、食が細い、風邪を引きやすいなどよく伺いますが、それが本当に胸郭変形が原因かはわかりません。しかし、なかには確かに凹んだ胸を拳上することで上記症状が軽快する子も少なくありません。

また、大きな問題としては、友達から胸の凹みを指摘されるなど、精神的苦痛が挙げられます。手術を受ける子供たちは、その殆どが凹みを治したいという希望のもと手術を行います。なかには気管支疾患や心臓弁膜症などを患い、手術を受けることになる場合もあります。

私どもは、両側に約二横指(2~3cm程)の傷を使い、チタン製のバーを胸に挿入し胸の凹みを治すNUSS法という手術を行っています。多くの理由から10歳前後が適年齢とされていますが、それ以上の年齢でも可能です。

胸郭変形でお困りのことがありましたら、ぜひ診療させて頂きますので一度ご相談ください。



当院の形成外科における取り組み



東海大学医学部付属八王子病院
形成外科医長心得 助教 備前 篤 医師

【専門分野】
形成外科学

【専門医・認定医】
日本形成外科学会専門医・指導医 レーザー分野指導医

当科では現在、常勤医5名 非常勤医2名体制で診療を行っております。

形成外科では、身体の構造の欠損や変形を手術で矯正することにより、創部を治癒させたり外見をより美しくさせたりすることで生活の質を向上させることを目指しています。顔面を中心に頭部から足先まで身体表面にわたり、先天性疾患、外傷、腫瘍(できもの)、老化や病気・外傷の後遺症などの疾患を扱います。

基本的に体表に関するあらゆる疾患を扱っていますが、中でも当科の専門医は眼瞼の形成手術や胸郭の変形(漏斗胸)、切断指や腱断裂など手指の外傷、糖尿病患者の足の創傷を多く治療してきました。また、他の病院・クリニックで美容外科などの手術を受けたあとにうまく治らない方や変形を残してしまった方のご相談も手掛けております。

顔面や体幹部、四肢(手足)など、目立つ部分のほくろや腫瘍(できもの)をできるだけ傷跡が目立たないように手術やレーザーで治療のご相談もお受けしています。形成外科は体表面の疾患を治療することが多いため、手術は全身麻酔に限らず、手術内容によっては局所麻酔で日帰りや一泊入院で受けられる場合も多いです。

形成外科にて扱う疾患に対して専門的な治療を行う医療機関は近隣でも限られています。今後も地域に貢献できるように努力して参りますので、ご相談、ご紹介をお待ちしております。



レーザー治療に使用する医療機器

医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間: 月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日 8:00～11:00

休診日: 日曜日・祝日、第1・3土曜日、11月1日(建学記念日)、12月29日～1月3日

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115

24時間対応 * 受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表)

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30